

しあわせ

2015年
1月1日発行
No.136

介護者のつどい、ひとり暮らしのつどい	2
福祉推進員研修会	3
いきいきザロンのつどい、ふれあい会食	4
さくらんぼ通信	5
ボランティアセンターだより	6
福祉協力校だより 今須中学校	7
情報あれこれ・防災メモ	8





新春のご挨拶

社会福祉法人 関ヶ原町社会福祉協議会

会長 三輪 均

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を皆様方にはご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、社会福祉協議会の活動に對しまして格別なるご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、十月の「ふくしフレンドパーク」、十一月の「いきいきサロンのつどい」には、福祉推進員、民生児童委員や各種団体の皆様のご協力ご参加いただき、笑顔あふれる楽しい催しになりました。また十二月には、二回目となる「せきがはらボランティア福祉まつり」を町ボランティア連絡協議会が主体となって開催いただきました。

どの催しも、多くの方々のご協力がなければ開催できないものばかりです。ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

近年、福祉を取り巻く環境は、急速な変化を見せており、従来の公的な福祉サービスだけでは対応しきれない多様な課題が存在します。社会

福祉協議会は、「地域の支え合い活動」、「在宅の見守り活動」などの地域福祉活動を、行政はもとより、各種関係機関や民間諸団体との連携を一層図りながら推進して参りたいと考えております。

また本年は、社会福祉協議会の地域福祉活動に取り組む指針を示した五カ年計画である「第四次地域福祉活動計画」を策定する年となります。「お互いに助け合い、安心して暮らせる。福祉のまちづくり」の実現のため、地域の皆様方のご協力をいただきながら、地域の皆様と共に「地域福祉活動計画」を策定してまいります。と思っています。

本年も皆様から期待され、信頼される社会福祉協議会を目指して、役員一同努力して参りますので皆様の一層のご支援ご協力を切に願っています。

最後になりましたが、この新しい年が、皆様にとって良き年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



介護者のつどい 11月10日(月)

日頃ご家族の介護をしていらっしゃる方々を対象に、日帰りバス旅行を開催しました。

今年は、郡上八幡へ行ってきました。まず初めに、サンプルビレッジ・いわさきにて食品サンプル(天ぷら、レタス)作りを体験しました。みなさん、初めての体験でしたが、本物そっくりのものが出来上がりました。次に、昼食会場に移動し、おいしい食事とおしゃべりを楽しみました。

当日は天気にも恵まれ、みなさん気分をリフレッシュしていただけたと思います。

参加された方から、「今後の生活する上において、相手の事も考え共に二人助け合っていこうと思いました。」と、お言葉をいただきました。



ひとり暮らしのつどい 11月18日(火)



70歳以上のひとり暮らしの方々を対象に日帰り旅行を開催しました。今年は、なばなの里

へ行きました。当日は天気もよく、足湯を楽しまれたり、きれいな花を見ながらおしゃべりを楽しまれました。帰りには、お千代稲荷に立ち寄り、参拝された後はみなさん両手いっぱいお土産を買われました。

参加されたみなさんから、「楽しかった～。ありがとう。」と感想をいただきました。

※この事業は歳末たすけあい募金の配分を受けて実施しました。



福祉推進員研修会

九月末から十月中旬にかけて、福祉推進員ブロック別研修会を開催しました。福祉推進員を対象に、「自分のまちを知り、自分のまちを考える」ことを目的に民生児童委員の方々にもご参加いただき開催しました。

まず、はじめに関ヶ原町の現状について簡単に説明し、その後、「グループワーク」と「KJ法」という手法を用い、グループごとに設定された「災害」「見守り」「福祉サービス（住民参加型）」のテーマに対し、良いところ、悪いところ等について和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。

この他に、福祉推進員の活動として高齢者宅等を訪問した際に、よく話し相手になって



テーマ 災害

- ・街灯が消えていたり、未設置など夜道が暗く不安、危ない
- ・避難場所に設定されている場所が遠く、助け合っでの避難が必要
- ・様々な災害を網羅した1つのマップを作成し、住民が共有できると良い
- ・高齢者宅などの除雪に困っている

など



テーマ 見守り

- ・自治会の行事を通じて対象者の把握ができていない
- ・既存の巡回バスでは買い物や通院に対応できていない
- ・放課後の学校開放など児童が安全に遊べる場所の確保
- ・いきいきサロンの参加者が固定化してしまっている

など



テーマ 福祉サービス

- ・巡回バスは継続してほしいけど、ニーズに合った運行はできないか
- ・日常の買い物に困っているが、何かよい方法はないだろうか
- ・町内にある“サービス”や“制度”の情報をよりわかりやすく発信してほしい

など

ほしいと言われるという意見に対し、他の参加者も同じ場面にあったことがあるという声が多く聞きました。そうした中で、常設型のサロンがあれば地域の人がいつでも集まることができ、顔を合わせる機会づくりになるのではないかと、といった意見もいただきました。

今回の研修会でいただいたみなさまの意見を今後の社協事業に活かしていきたいと思っております。



多くのご参加をいただきありがとうございました。

第13回 いきいきサロンのつどい開催



実行委員のみなさん
お疲れさまでした

第13回いきいきサロンのつどい



11月14日(金)、関ヶ原ふれあいセンターにおいて「いきいきサロンのつどい」が開催されました。約300名の方が参加され、吉本興業若手芸人の方々によるお笑いステージや関ヶ原コーラス、今須西町ほのほのサロンの銭太鼓、陣場野サロン会のハンドベルを披露していただきました。

参加されたみなさんは、たくさん笑って、懐かしい歌と一緒に歌ったり、踊ったりととても楽しい時間を過ごされました。



ふれあい会食

11月28日(金)に老人福祉センターにて、ひとり暮らしのお年よりをお招きし、「ふれあい会食」を行いました。午前中は、関ヶ原小学校5年1組の子どもたちと手作りのゲームなどを楽しみ、ボランティアさんや日赤奉仕団の方々による手作りのお弁当をいただきました。午後は、関ヶ原民謡クラブの方々による踊りの披露と、勝笑演芸一座の落語と漫談を楽しみました。

※この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。





さくらんぼ通信



小規模授産所 さくらんぼの家 TEL 43-1525

菊栽培



さくらんぼの家では、7月より「菊作り」に取り組みました。所生さんにとって初めての試みで、「どうやって作るのかなあ」と不安もありましたが、ボランティア団体「あしたば会」さんの協力を得ながら、「菊作り」がスタートしました。まずは土作りから始まり、自分たちで選んだ苗を植えました。毎日の水やりや肥料を与えたりと、育てた苗が

大輪の花を咲かせました。自分たちが育てた花を見て、所生さん達も

「わあ一つ、きれいやなあ」と思わず笑みがこぼれ、何処か誇らしげでした。最後に開花した菊は、所生さんの各家庭に持帰り、ご家族の方と鑑賞されました。



さくらんぼの家・秋の散策旅行

秋の深まった11月15日(土)、さくらんぼの家では毎年恒例、「秋の散策旅行」を実施しました。行先は、所生さんみんなで決めた[福井県大野市、県立恐竜博物館、羽二重餅の古里]と、盛りだくさんの内容になりました。行きのバスの中では「カラオケ大会」、ドキドキ・ワクワクの旅が始まりました。当日の天気は時雨模様でしたが、紅葉真っ盛りの九頭竜湖(福井県大野市)を横目に見ながら昼食場所の大野市へ向かい、名物の「ソースかつ丼」や「おろし蕎麦」に舌鼓を打ち、「大野城」を眺めながら次の目的地である「恐竜博物館」へと向かいました。博物館が近づくにつれ、街の所々に「恐竜の街」を感じさせるイラストや巨大フィギュアが見られ、所生さん達も興奮しながら博物館へ到着しました。中に入り、長いエスカレーターで地下に向かい、徐々に上の階へと移動しました。3D画像を観たり、自分の背丈の何倍もある恐竜、中には体を上下左右に動かしている物もあり、真剣に展示物を見ながら所生さん同士楽しそうに話しながら、見学をしました。また帰りの道中にある「羽二重餅の古里」では、それぞれの家で待っている家族へと、お土産を買いました。沢山の種類の中から「試食」をしながら選び、お土産袋をそれぞれの手を持ち帰路へつきました。帰りのバスの中では、もう一つの楽しみでもある「ビンゴ大会」が始まりました。「リーチ!!」、「ビンゴ!!」と次々に揃った人からお楽しみの景品交換。包みの中身を見ると同時に、歓喜の音が上がり、全員が楽しい時間を過ごしました。そしてバスは、夕刻過ぎに関ヶ原に到着しました。



家族の出迎えもあり、所生さんはお土産を手に「楽しかったよ」と溢れんばかりの笑顔になり、とても楽しい一日となりました。

NO. 95

ボランティアセンターだより さわやか



**傾聴ボランティア養成講座、全過程を終了
これからの活躍を期待！**

十月二十三日より「岐阜県の電話副理事長の子安崇雄氏を講師として迎え、四回の講義・演習を二十一名の方々が受講されました。

人は「話す」ことで悲しみや苦しみ、不安、怒りを自分から「離す」「放す」ことができる学びました。北風のような強さではなく太陽のような暖かさで「聴く」ことができるよう、勉強と練習をかねました。

また、五回目として十二月二日は、関ヶ原町主催の「こころ元気研究所」所長の鎌田敏氏の講演「心元気に生きる」命は宝々に、今須中学校の生徒さんや民生児童委員さんなどと共に参加しました。生徒さんと傾聴ロールプレイもおこないました。

今後は高齢者のみならず子どもへの傾聴もおこなえるのではと、考えています。

相手の気持ちに寄り添い心の支えとなるボランティア活動になるよう、ボランティア登録をしてくださった受講者のみなさん、これからもよろしくお願いします。



ロールプレイを何度もおこないました。



傾聴モードにもコツがあります。

第2回「せきがはらボランティア福祉まつり」を開催しました



人形劇は新作「関ヶ原合戦」。



磁石のついた竿でお菓子釣り。

十二月六日(土)、ふれあいセンターにおいて、社会福祉協議会とボランティア連絡協議会が共催で「せきがはらボランティア福祉まつり」を開催しました。

天気はいよいよの雪。風も伴い、外のテントでの食べ物販売は大変でしたが、ボランティアのみなさんと協力し、開催できました。

おもちゃを作ったりあそんだり、人形劇を観たりお菓子

釣りをしたり、クイズでポップコーンをもらったりと、楽しいことがたくさんありました。車いす体験もしてもらいました。

小ホールでは「つなごう、ご近所のいい関係」と題した、ミニ・トークディスカッションをおこないました。パネリストとして障がいをもった方や消防署長、自主防災隊長、障がい者支援ボランティアの方々を迎え、在宅介護支援センターのケアマネージャーのコーディネートで、障がいをもった方も安心して暮らせるご近所づくりあいや非常時の備えについて考えました。

寒い日でしたが、心のおたまたまるボランティア福祉まつりでした。



たすけあえるご近所付き合いを考えました。



福祉協力校だより



今須中学校

地域の方々に支えられて

今須中学校では、総合的な学習の時間に、ふるさとの自然や文化、歴史や人々とふれあう体験を通して、ふるさとを愛する心を育てています。

中学1年生は、10月に地域のみなさんから学ぼうと、今須小中学校の運動場で行われているグランドゴルフに参加しました。



僕は、初めてグランドゴルフに参加しました。スポーツを通じてみなさんと交流ができ、うれしかったです。みなさんがお互いにほめあい、笑顔いっぱいプレイされていて、私も楽しくなりました。ある方は、ホールインワンを何度も出されて、僕は驚き、負けていられないなと思いました。これからも、進んでサークル活動に参加し、みなさんとふれあっていきたいと思います。
(中1生徒の感想より)



中学3年生は、関ヶ原合戦祭りに、関ヶ原・今須をアピールするブースを出店しました。自分たちが感じている「今須のよさ」を多くの方に語っていました。

今須産の杉を使ったおもちゃで遊ぶコーナーを作ったことで、小さい子どもから大人の方まで今須杉に興味をもってもらえ、今須杉のよさを知ってもらえてよかった。
(中3生徒の感想より)

今須小中学校併設30周年の節目を迎えて



11月1日(土)に、今須小中学校併設30周年記念式典を今須小中学校体育館で開催しました。

小中併設30周年を節目に、あらためて小中併設校のよさを全校で考え、また、自分たちを支えてくださる地域の皆様への感謝を感じる会になりました。

◀会場のみなさんと、小中学生全員で歌った「ふるさと」

生徒会長の話より

今須小中学校では、いろいろな行事の中で年齢の大きく異なる児童生徒が協力し助け合うことで、相手意識を持つことができるようになります。これは、今須小中学校のよさの一つだと思います。

私たちは、30周年のこの場にいられる喜びをかみしめ、一日一日を大切に、未来にむかってがんばりたいと思います。

相談日

しあわせ相談センター

- 場所/老人福祉センター
- 時間/午後1時30分～4時
- ご相談は無料

	心配ごと相談	結婚相談	弁護士相談
1月	10日(土)	10日(土) 30日(金)	17日(土)
2月	10日(火)	10日(火) 28日(土)	21日(土)

善意のご寄附

10月16日から12月15日分まで(受付順・敬称略)

関ヶ原町自治会連合会

.....三三八、九〇〇円

(バザーの売上金)

関ヶ原町食生活改善協議会

.....五、〇〇〇円

関ヶ原町老人クラブ連合会女性部

.....一七、二〇〇円

瀧山昌弘.....一〇〇、〇〇〇円

安藤 勝.....三〇、六四〇円

匿名.....一〇〇、〇〇〇円

ありがとうございました。



西消防署のボランティア「ゆきんこ」より
防火防災情報の「録音図書」を差し上げます

点訳・朗読グループ「ゆきんこ」の協力で、消防署が視覚障がいの方に向けた録音図書を作られました。視覚障がいの方だけでなく、ご希望の方はどなたにも無料で差し上げます。内容は次のとおり。

- ① 119番通報について
- ② 救急車の利用について
- ③ 家庭の火災予防について
- ④ 住宅用火災警報器について
- ⑤ いざという時の備え 地震編
- ⑥ いざという時の備え 集中豪雨編
- ⑦ 災害時の「自助」「共助」
- ⑧ 防災製品について
(録音:「ゆきんこ」)

お問い合わせは社協まで ☎43-2943



ふれあい親子映画会

12月6日(土)ふれあいセンターにおいて、小学生以下の親子を対象にした「ふれあい親子映画会」を開催しました。当日は、あいにくの雪で来られない方もいっしょに残念でしたが、親子で、お友達とうして、とても楽しい日を過ごしました。

※この事業は、歳末たすけあい募金の配分を受けて開催しました。



第5回 避難行動

こんな時どうする? ①地震編



A 集団でいるとき

例えば...「サロン」「寄り合い」「買い物中」など

- ① 周りのものが倒れてくるかもしれません。カバンなどで落下物から頭を守りましょう。
- ② 屋外への避難を考えましょう。何が崩れてくるかわかりません。用心しましょう。
- ③ 周りで困っている人がいたら、声をかけましょう。



地震発生!



B 乗車中の場合

自動車を運転している最中だったら

- ① ハザードランプをつけながらゆっくりと車を路肩に寄せて停めましょう。
- ② エンジンを切って、カギをさしたまま避難しましょう。
- ③ 車から離れるときは、連絡先を書いたメモを残すと良いでしょう。

「あなたが率先して避難を呼びかけましょう」

今回のテーマは 避難行動 ②火災編 をお届けします。